

バリデーション ワーカーコース

認知症の方とのコミュニケーション法

バリデーションとは

バリデーションとは、アルツハイマー型認知症および類似の認知症高齢者とコミュニケーションを行うための方法の一つです。

アメリカのソーシャルワーカーであるナオミファイルが、老人ホームで働くなかで従来の認知症ケアに満足できなくなり、高齢者が尊厳を回復し、引きこもりに陥らないように援助する方法として構築しました。混乱したお年寄りを良くしようというよりも、むしろ介護者自身が変わり、介護を受ける側の世界を理解し、再び心を通わせることを目指しています。

認知症の高齢者のみならず、介護の専門職や介護を行うご家族のためにも役立つ方法として、世界で高く評価され、アメリカ合衆国、カナダ、ヨーロッパ、オーストラリア等の30,000以上の高齢者施設で採用されてきました。

日程・講義内容

第1回 令和2年3月7日(土)、8日(日)

バリデーションで必要とされる基本的人間感

第1段階(認知の混乱)で使われる全てのテクニックの説明、実演と実践演習

第2回 令和2年6月13日(土)、14日(日)

第2段階(日時・季節の混乱)で使われる全てのテクニックの説明、実演と実践演習

第3回 令和2年9月12日(土)、13日(日)

第3段階(繰り返し動作)で使われる全てのテクニックの説明、実演と実践演習

第4回 令和2年12月12日(土)、13日(日)

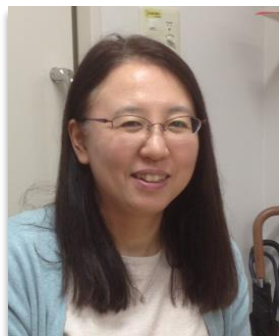
第4段階(植物状態)で使われる全てのテクニックの説明、実演と実践演習

バリデーションと他の手法との違い

第5回 令和3年3月13日(土)、14日(日)

最終試験(ケーススタディーのフィードバック、ビデオによる実技試験)

講師紹介



稲谷ふみ枝

超高齢化社会で地域医療や福祉が進むなか、認知症の人とコミュニケーションをとる機会はますます増えていきます。バリデーション法を習得することで、病院や施設、家庭やご近所で、自信をもって高齢者と関わることができるようになります。



正垣 幸一郎

阪神淡路大震災の際、一人暮らし老人友愛訪問グループの立ち上げなど復興支援に携わる。現在、社会福祉法人新生寿会ジロール麴町で副施設長、事務長を勤めている。バリデーションティーチャーとして各地で講演活動を行っている。



玉置裕美

バリデーションを学び「行動には理由がある」ことを再認識し、私たちが信頼関係を築く過程が大切であることを学びました。「失敗はない。課題が見つかるだけ」コミュニケーションが苦手な方でも大丈夫。ともにお年寄りから学びましょう

研修会場

千代田区立高齢者総合サポートセンターかがやきプラザ
〒102-0074 九段南1-6-10

再履修 (以前事情があり途中までしか参加ができなくなった方)

スキルアップ (すでにワーカーを取得

した方でもう一度復習したい方)の方も**大**

歓迎です。

(ワーカーコース受講の方と料金が異なりますのでお気軽にお問い合わせください)



東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅から徒歩5分

受講料

195,000円(税込)

受講料に含まれるもの:テキスト代、5回のスクーリング代、課題の採点など
含まれないもの:会場までの交通費、宿泊費、食費など

FAX: 0995-48-8880

バリデーションワーカーコースにご興味のある方は下の表に必要な事項をご記入の上 FAXにて送信していただきますようお願いいたします。

開催要綱を送って欲しい

氏名		
住所	〒 ー	
電話 (携帯電話)	TEL: 携帯:	FAX
Email		

公認日本バリデーション協会 事務局

一般社団法人 **サツマスタ**

TEL: 0995-48-8877 FAX: 0995-48-8880

〒899-4346 鹿児島県霧島市国分府中町17番8号

<http://validation.chu.jp>